



秋田県代表選考会を開催

小型ポンプは横手市山内消防団



題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

台風の影響で中止しました、第五
三回秋田県消防操法大会は、「第二五
回全国消防操法大会」及び「第二三
回全国女性消防操法大会」の秋田県
代表選考会として、九月二日(金)秋
田県消防学校放水訓練場(由利本荘
市岩城)において行いました。

三種町消防団青山竹千代副団長
の総指揮により選手が整列、引き続
き開会式が行われ、中田潤秋田県消
防協会長があいさつを述べました。

鈴木嘉司憲 秋田県消防学校長か
ら審査長指示があり、横手市支部横
手市山内消防団 高橋隆分団長が選
手宣誓を行いました。

小型ポンプ操法の部には、県内九
支部の予選を勝ち抜いた九分団、ま
た、軽可搬ポンプ操法の部には、五
隊が出場して二〇年ぶりの予選会と
なりました。

なお、ポンプ車操法の部は会場等
の都合により実施できませんでした。

小型ポ
ンプ操法
の部では、
横手市山
内消防団
第一分団
が僅差で
代表を勝
ち取り一
〇月一四
日長野市
で開催さ
れる全国
大会に出
場します。
また、
軽可搬ポ
ンプ操法の部では、大仙市女性消防
隊が一位となり、来年九月三〇日に
秋田市で開催される全国大会に出場
することになりました。

競技の結果(優秀選手賞を含む)は
別記のとおりですが、小型ポンプ操
法の部代表の横手市山内消防団第一
分団並びに三回連続の代表となりま
した大仙市女性消防隊には、全国大
会での健闘を大いに期待しておりま
す。



平成二十八年年度全国統 防火標語
消しましょう その火その時 その場所で

平成二十八年秋の火災予防運動
十一月六日(日)〜十一月二二日(土)



競技審査の講評

◎大会審査班長

秋田県消防学校 小笠原伸一

■ 総合

どの隊も全国を目指しているため、全体的に例年よりレベルの高い操法であったが、ホース展張、ホースラインの悪さが目立った印象を受けた。

■ 小型ポンプ操法の部

今年には規定外圧力送水はなく、送水技術には改善が見られた。反面、タイムを重視するあまりか、ホースラインが悪い隊が例年より多かった。全国上位を目指すには、ホースラインは重要な要素であるため、一層の訓練が必要である。

■ 軽可搬ポンプ操法の部

二〇年ぶりに複数の隊が出場し大会が行われた。土気等は高い印象を受けたが、敏捷性の部分で課題があるように思われた。来年は秋田県で初の地方開催となる全国大会が行われるので、上位を目指し頑張るほしい。



小笠原審査班長

どの隊も全国を目指しているため、全体的に例年よりレベルの高い操法であったが、ホース展張、ホースラインの悪さが目立った印象を受けた。

今年には規定外圧力送水はなく、送水技術には改善が見られた。反面、タイムを重視するあまりか、ホースラインが悪い隊が例年より多かった。全国上位を目指すには、ホースラインは重要な要素であるため、一層の訓練が必要である。

二〇年ぶりに複数の隊が出場し大会が行われた。土気等は高い印象を受けたが、敏捷性の部分で課題があるように思われた。来年は秋田県で初の地方開催となる全国大会が行われるので、上位を目指し頑張るほしい。

「第25回全国消防操法大会」及び「第23回全国女性消防操法大会」秋田県代表選考会成績表

【小型ポンプ操法の部】

順位	消防団名	タイム(秒)	総得点(点)
1位	横手市山内消防団第1分団	43.72	88.0
2位	美郷町消防団第2分団	42.25	87.0
3位	三種町消防団山本支団第4分団	42.19	82.0
	潟上市消防団飯田川支団第2分団	45.48	75.0
	秋田市消防団浜田分団	46.20	72.5
	由利本荘市消防団鳥海支団第3分団	47.13	72.5
	小坂町消防団第4分団	44.87	71.0
	東成瀬村消防団第2分団	47.60	70.5
	大館市消防団比内第1分団	44.30	66.5

【軽可搬ポンプ操法の部】

順位	消防団名	タイム(秒)	総得点(点)
1位	大仙市女性消防隊	63.09	79.0
	横手市山内女性消防隊	64.59	75.0
	大館市女性消防隊	65.86	74.0
	秋田市女性消防隊	72.60	71.0
	潟上市女性消防隊	68.70	68.0

【優秀選手賞】

区分	小型ポンプ操法		軽可搬ポンプ操法	
	消防団名	氏名	消防団名	氏名
指揮者	美郷町消防団第2分団	齊藤 民寿	大仙市女性消防隊	佐藤 久子
1番員	美郷町消防団第2分団	熊谷 勝明	大館市女性消防隊	斎藤 千秋
2番員	小坂町消防団第4分団	赤川 和也	大仙市女性消防隊	相馬 静華
3番員	横手市山内消防団第1分団	小林 和也	横手市山内女性消防隊	畑 しのぶ
4番員			大仙市女性消防隊	鈴木美也子



秋田県知事表彰



秋田県消防協会会長表彰



選手答辞



閉会のことば

秋田県代表消防団(隊)

◎小型ポンプ操法の部



横手市山内消防団 第1分団

◎軽可搬ポンプ操法の部



大仙市女性消防隊

優秀選手の紹介

■小型ポンプ操法

指揮者

齊藤 民寿



一番員

熊谷 勝明



二番員

赤川 和也



三番員

小林 和也



■軽可搬ポンプ操法

指揮者

佐藤 久子



一番員

斎藤 千秋



二番員

相馬 静華



三番員

畑 しのぶ



四番員

鈴木美也子



全国消防殉職者慰霊祭

(公財)日本消防協会

第三五回全国消防殉職者慰霊祭は、九月二十九日(木)午前一〇時から日本消防会館ニッショーホール(東京都港区虎ノ門)で行われ、秋本敏文(日本消防協会長の式辞に続き、内閣総理大臣(代理)、総務大臣(代理))らが追悼のことばを述べられました。全国の殉職者数は、新たに合祀された四柱を加え五、六九二柱となりました。



御霊の奉納

■本県から出席したご遺族

殉職者氏名	遺族氏名
黒澤 友吉	黒澤 百合子
花ノ木 政満	黒澤 はづき
三ヶ田 喜一郎	花ノ木 八重子
	三ヶ田 君



ご遺族と中田会長



鎮魂の歌 (木遣り)



秋 田 県
消防学校

初任教育第七〇期修了式

七〇名修了第一線での活躍を期待

秋田県消防学校第七〇期初任教育の修了式が九月一六日(金)、同校の屋内訓練場で修了生のご家族やご来賓約二四〇名が出席して行われました。七〇名の修了生は、六ヶ月間の厳しい訓練を乗り越え、明日からその所属消防本部に着任し、消防士として活動することになります。

表彰状授与

■優 秀 賞(一一名)

秋田市消防本部

高橋 博康

”

佐藤 聖華

鹿角広域行政組合消防本部

阿部理紀也

熊代山本広域市町村圏組合消防本部

清水 裕太

”

中西 啓太

”

児玉 儀仁

”

赤塚竜太郎

”

遠藤 竜希

”

畠山 孔明

”

田中 眞美

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

加藤 秀之

■功 勞 章(五名)

秋田市消防本部

高橋 博康

”

千田 駿弥

”

佐々木寛紀

由利本荘市消防本部

遠藤 知晃

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

石川 晃貴

学校長式辞 (要約)



秋田県消防学校
学校長
鈴木 嘉司憲

これから、数多くの厳しく困難な現場が、皆さんの前に立ちはだかることでしょう。

しかし、脈々と築かれてきた消防精神を胸に、各々が自分の役割をしっかりと果たし、そして、仲間と一致協力して立ち向かうことにより、必ずや乗り越えることができるでしょう。

各消防本部では、皆さんの若い力に大いに期待しています。そして、同様に地域住民の皆様もまた、あなた方に大きな期待を寄せています。それらの期待に応えるためにも、皆さんが入校の際に宣誓した、人格の陶冶に努めていただきたいと思います。

自らが選択した消防人生です。初心を忘れることなく、夢を持ち続け、信念を貫き、勇気を持って職責を果たしてください。

皆さんのこの半年間の努力に、深く敬意を表します。どうか、事故や健康にはくれぐれも留意され、充実した消防人生を歩んでください。皆さんの今後の健闘を心から祈念申し上げます。

修了生答辞 (要約)



秋田市消防本部
消防士
高橋 博康

春、夏、秋と季節も移り変わり、いよいよこの消防学校を巣立ち、現場で活躍する時がきました。

近年、地震や異常気象による大雨、土砂災害など各種災害による悲惨なニュースは後を絶ちません。こうした中で、私たちは地域住民の安全安心を守り、困っている人を助けたいという初心と使命感を忘れず、消防業務に尽力して参ります。

この半年間、この消防学校で培ったことを胸に、各地域そして秋田県消防の更なる発展に資することを誓い、答辞といたします。



70期教育
初任教

半年間を
振り返って

秋田県消防学校

秋田市消防本部 高橋 博康

教官方から、これでもかというほど熱心にご指導をいただいたこと、とても贅沢でした。個性豊かな七〇人が一人も欠けることなく全員で卒業できることを誇りに思います。皆が同期のためにした一つ一つの行動が、七〇期を支えました。現場に出ても、このことを忘れません。

大館市消防本部 児玉 邑

訓練ではうまくいかず、焦ることもありましたが、何度も繰り返すことで上達していき、反復練習の重要性を学びました。所属に戻り、皆とかなかなか会えなくなるのは寂しいですが、学校で学んだように現場でも反復練習を行いたいと思います。

北秋田市消防本部 大川 翔平

半年間は充実していて、あっという間でした。訓練や体力練成等は辛いことばかりでしたが、一緒に乗り越えた仲間との思い出はとても楽しいことばかりでありました。これまでに学んだことを糧に日々努力していきます。

由利本荘市消防本部 遠藤 知晃

これほど内容の濃い半年間を過ごしたのは初めてでした。入校時はとても不安でしたが、同期七〇人で生活してみると、毎日の一秒一秒がとても短く感じ、気がつけばもう九月になっていました。消防学校で学んだ事を忘れず所属でも頑張ります。

にかほ市消防本部 柴田 悠眞

半年間で消防吏員としての基礎的な知識、技術を学ぶことができた。辛い訓練もありましたが、七〇期全員で切磋琢磨して乗り越えることができた。ここで学んだことを基盤としてこれからの消防人生を歩んでいきたいと思う。

横手市消防本部 神原 望

入校したばかりの時は、右も左もわからないまま、ただ毎日を送っていた。でも教官方の指導もあって、どんどん消防人として成長しているのが分かった。最後の査閲では、今までやってきたことを充分発揮できたと思う。七〇期生で良かった。

五城目町消防本部 福嶋 良磨

初任教育を通して、かけがえのない思い出とこれからの消防人生の土台を築くことができました。これから所属本部でも、住民の生命、身体、財産を守るという任務を遂行するため、日々の訓練に励んでいきます。

能代山本広域消防本部 清水 裕太

入校時の私と比べると、心身ともに成長出来たと思います。また、苦しい訓練を乗り越えた同期という大切なものができ、心から嬉しく思います。支えてくださった人への感謝を忘れずに、所属に帰っても努力しつづけていきます。

鹿角広域消防本部 金澤 直大

初任科教育の始めに、自分の目指す消防士像を考えた。今、少しは自分の目指す消防士に近づいたのではないかと思う。一つ一つの命を救うために、しっかりと知識、技術を身に付けられるよう努力していきたい。

湖東地区消防本部 白川 雅寛

座学や訓練の毎日で充実した時間を過ごすことが出来ました。また、今日歩大会が一番の思い出となりました。この半年間で心技体共に成長し、大切な仲間を得ることができました。この経験をこれからの消防人生に生かしていきたいです。

男鹿地区消防本部 藤原 潤

入校当初と比べると少しは消防士としての在り方を身に付けることができたと思う。振り返ってみると、初めのうちは辛いこともあったけれど、大半が楽しかった思い出ばかりです。ここで学んだ事を生かしていきたい。

大曲仙北広域消防本部 石川 晃貴

副総代という役職を任せられ、また周りよりも年長でプレッシャーを感じながらのスタートでしたが、教官の教えや同期との助け合いでここまで来られたと思います。卒業後は、立派な消防士を目指し頑張ります。

湯沢雄勝広域消防本部 加藤 秀之

消防人として、また人間として成長することを誓い、入校した消防学校は大変充実したものであった。厳しい訓練を通して得た技術、精神力。仲間との生活で得た協働性。ここで学んだことを生かし頑張りたい。

地域の防災、災害対策に貢献!



猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

第12回 消防団員 意見発表会(三)



木村 剛之
鹿角市消防団
班長
勤続一〇年
地方公務員

明るく責任感が強い性格のため、分団の中心的な存在であり、これまで地域と連携した消防団活動に精励している。

「地域の理解こそが 効果的な防火活動」

入団から一〇年が経ち、昨年から班長を担うようになって感じていることがあります。「早く班長を辞めよう。」一見、無責任の様に捉えられるかもしれませんが、私の考えとしては、同じ人材の長期的な在職は、団員の高齢化を招き、青年層の参加意欲を減退させるのではないかと思います。

私も含め、現消防団員それぞれが年を重ね退団を迎えようとした時、地域の中で消防団員にふさわしい人材を見つけていくことができるのだろうか？消防団への入団を理解してくれる人材がいるのだろうかといった不安を感じています。

当時、私に対する入団勧誘はこうでした。「おい、ホルモン食べに行かねが？たまに良がべつ！ちよこつと相談もあるしなっ」の言葉に、何の疑いもなく「へば、花千鳥がいつすな」と、日ごろの何気ない会話の流れで食事に行ったのが入団のきっかけであり、消防団員としての始まりでした。

入団してから、自分自身がハマったのが操法訓練大会でした。昔からスポーツを通じて競い合う事が好きだったこともあり、初めて目にした操法大会の熱戦に心を奪われてしまい、消防操法に情熱を注ぐ様になっていました。

我が班では、操法大会に向けた練習期間中は、競争心や結束力の高揚を図るため、徹底して反省会や交流会を行っていきます。その甲斐あって、全員が一丸となって操法練習に打ち込むようになっていきます。

四年前の支部大会では、小型ポンプ操法の部で三位入賞を果たすことが出来ました。地域の方



からは「大したものだった！」と、大いに祝福されたことが今でも心に残っています。なぜ、こんなにも祝福されたのかには一つ理由があります。我が地域では、操法大会の前日に決まってJA祭りが開催されています。以前には、JA祭りに出演参加し、演芸を披露するなど我が消防団員の芸達者ぶりをアピールしたこともありました。

年に一回の祭りとおあって、呑めや踊れやの状態で一夜を過ごし、翌日に操法大会を迎えるのが恒例となっています。そんな状況にもかかわらず、結果を残すことができた事に地域からの祝福があったのだと感じています。今年でJA祭りも第三八回を迎えます。今年も、いつも以上に頑張りたいと思っています。ご紹介したとおり、歴代を含め我が地域の消防団員は酒好きであります。個性豊かで熱い情熱を持ち、行動力ある団員が多いです。

私の幼少時代、家族の会話でも「消防、今日も呑んでらいたななっ!？」。よく、毎晩がんばるなっ!という、父親の言葉を耳にしたことを覚えています。色々な意味合いであったにしても、昔から消防団は活動的だったのだなと感じていますし、地域の方も同じ印象を受けているものだと思います。

そして、この決して悪い感じのない印象と消防団に対する包括的な理解があったからこそ、自分自身が消防団を担う立場になっていくということに結びついたのだと思っています。

「消防活動は、我々の活動のみにあらず。地域の理解があつてこそが効果的な防火活動」だと私は考えます。

これまで、この地域の理解という基盤があつたからこそ、新たな人材が生まれ、今も受け継がれている我が消防団の歴史があるのだと思います。この歴史を将来に繋いでいくことが私の責務だと感じています。これからも、有意義な消防活動に邁進したいと心に決めています。



平泉 裕隆
大館市消防団
団員
勤続一年
会社員

東京から大館市にAターン、他の団員を動かすきっかけになればと、自ら団長に志願し発表するこ
とになりました。

「団員獲得大作戦」

昨今、消防団員の不足・高齢化は全国的な問題になっています。私達の大館市消防団も例外ではありません。よく同級生からは、「何で消防

団に入ったの?」「あんなの面倒くさくない?」なんて言われます。私の消防団人生は大館市消防団がスタートではありません。東京で仕事している時に東京消防庁の職員の方からお誘いをいただき、練馬消防団第一分団に入団しました。元々消防・消防団に興味があったこともあり、何も抵抗ありませんでした。それが、私の消防団人生の始まりです。

私のような人間が大勢いけば、団員不足なんて解消するでしょう。でも、実際問題同世代で消防団に入ろうなんて思っている人は中々いないでしょう。若い世代は正直言って「そもそも消防団って何?」「何してる訳?」「そんなの面倒くさい」「酒飲みの会でしょ?」というのが、正直な話です。団員の自分からすれば、こんな事言われて正直悲しいです。ネット上では、「無理矢理入れられた」とか「断り切れなくて」とか書かれていきます。我が団にも実際そんな団員もいるでしょう。

じゃあ、どうやって



増やすのか。正直、地道かつ大々的にやるしかないんじゃないでしょうか? 実際、全国各地の消防団では、PR動画を制作したりいろんな事を行っています。お金があれば、そういう事も出来ますよね。まずは、「消防団」って言う存在を知ってもらいましょう。何でもそうですが、知ってもらわなければ、何やっても無駄です、お金を使っただとしても。「消防団」という商品だと思ってもらいましょう。例えば、地域・小学校の防災訓練に参加したりして、まずは消防団を知ってもらいましょう。刷り込みです。消防団に対する意識改革も必要です。「消防団てかっこいいな」とか「人・地域のためにやりたい」と思わせる。これが地道な活動の一つでしょう。PR動画を作るにはお金が掛かるって言いましたが、今は自分で動画作れる時代です。ここで若い団員を使って制作して成人式等で上映してみましよう。地元就職している若者もいるわけですから、効果的だと思います。

次は、事業所を狙ってみましよう。正直、中々難しい部分ではありますが、事業所には若い人がいます。消防団員がいることのメリットを事業所に説明していけば、協力事業所も増える要因にもなるでしょう。勤務地団員の獲得も可能ですし、機能別団員として入団してくれるかもしれ



れません。

題に「団員獲得大作戦」と言いましたが、結局のところ、「消防団」を正しく理解してもらい、「強制」ではなく、「自ら」っていう流れを作っていくましよう。消防団っていいところなんだよって思わせて、自分がこの手でこの地域を守るんだっていう気持ちに思わせてあげましよう。「酒飲み集団」ではなくて、「正義のヒーロー」だって。皆で知恵と力を合わせて、ヒーローを増やましよう。活動で培った結束力・行動力を団員獲得にも回してみましよう!

「やってみねえくばなんもなんねえ。やってみるべし!」

◆ 秋田県の地域別設置率 ◆

☆地域名は、消防本部等の略称で表記

地域名	設置率	地域名	設置率
秋 田 市	84%	由 利 本 荘 市	80%
能代山本広域	90%	湖 東 地 区	73%
横 手 市	71%	大曲仙北広域	75%
大 館 市	86%	北 秋 田 市	87%
男 鹿 地 区	68%	に か ほ 市	81%
湯沢雄勝広域	72%	五 城 目 町	75%
鹿 角 広 域	74%		

住宅用火災警報器の設置
状況について: 総務省消防庁

総務省消防庁では、平成二八年六月一日時点での設置率を公表しましたので、その概要をお知らせします。

秋田県の設置率は八〇・〇%で、前回(平成二七年六月時点)の設置率.. 七八・九%に比べ、一・一ポイント上昇し、都道府県の順位では二六位となっております。(前回..二九位)

また、全国平均は八一・二%で、最高が福井県の九三・〇%、最低は沖縄県の五七・六%。全国平均を上回っているのは一九都道府県、二八県が全国平均を下回っています。

支部情報アラカルト

「消防団を地域にPR」
湯沢市でPR動画制作中!

全国的に団員の高齢化や減少が課題となっており、湯沢市でも例外ではありません。そこで湯沢市では、女性や若者を中心に広く市民の皆様へ消防団活動の重要性に対する理解を深めていただくとともに、加入促進に繋げることを目的として、総務省消防庁の委託事業「女性や若者をはじめとする消防団加入促進支援事業」を活用し、現役消防団員と市職員によるPR動画の制作を進めています。

制作には消防団から一人名、市職員四名の計一五名が出演し、劇団「わらび座」による脚本・演出、指導のもと、五回の演技練習と一泊二日の合宿稽古を行いました。このほか、消防団の訓



練や大会等の動きを取り入れ、消防団の役割や活動内容について深く理解を得られるような動画となることを目指しています。

完成は一二月を予定しておりますが、完成後は市民を対象とする地域防災講話会や湯沢市役所市民ホールなどで放映するほか、湯沢市のホームページやSNSを

利用して発信を予定しておりますので、多くの皆さまに湯沢市消防団の頑張りを観ていただければと思います。

(情報提供 湯沢市雄勝郡支部)



火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成28年		平成27年			同期比較	
	9月	累計	9月	累計	年計	9月	累計
建物	11	151	15	151	211	- 4	0
林野	0	29	0	32	34	0	- 3
車輛	0	23	3	35	45	- 3	-12
その他	2	46	2	77	83	0	-31
合計	13	249	20	295	373	- 7	-46
死者数	1	16	1	32	40	0	-16
負傷者数	3	40	8	69	86	- 5	-29

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52)6494
(52)6361

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕カギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32)3880
FAX (0182) (32)0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トーハツポンプ | シバウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp